

武蔵野市

くらしと地域を守り育むための対応方針

(新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰への対応方針)

令和4年8月25日

》》 くらしと地域を守り育むための対応方針

- 市では、令和2年1月31日に武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置して以来、感染症対策に関する基本的な考え方や5回にわたる対応方針を策定し、PCR検査センターの設置や新型コロナウイルスワクチン接種事業など、いのちを守るための感染拡大防止対策や、まちの経済を守り、市民の日常生活を支援するため、さまざまな経済支援や生活支援等に取り組んできました。
- また、令和4年度予算は、「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ くらしと地域を守り育む予算」と位置付け、コロナ禍による状況の変化に適切に対応しながら、着実に前へと進んでいくための予算を編成しました。
- 現在、新型コロナウイルス感染症の「第7波」が広がっていることに加え、ウクライナ情勢等による原油価格・物価高騰の影響を受けています。感染拡大の波や先行きの見えない物価高騰等の影響に備え、くらしと地域を守り育むための対応方針を策定し、さらに総額20億2,277万円の事業を推進します。

※本資料は、現時点における内容を掲載しており、今後の状況等により変更になる場合があります。

》 暮らしと地域を守り育むための対応方針

1 市民のいのちを守るための感染症対策

P4～P5

2 暮らしと地域の活力につなげるための支援策

P6～P7

3 市民生活を支える事業者等への支援策

P8～P9

1 市民のいのちを守るための感染症対策

新型コロナウイルス感染症の「第7波」の急拡大に伴う感染者数の急増を踏まえ、オミクロン株に対応したワクチンの追加接種に向けた取組みを進めるとともに、市独自の自宅療養者支援センターによる電話相談や食料品支援、生活必需品等の日用品支援等を継続します。

補正：補正予算（第3回）予定

	事業	備考
1	新型コロナウイルスワクチン接種の安全かつ確実な実施 ▶ 国の方針に基づき、オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチンの追加接種に向けた準備を進め、ワクチン接種を希望する方が安全かつ確実に接種できるよう取組みを進めます。	補正 8億6,768万円
2	自宅療養者支援センターの運営 ▶ 今後の感染症拡大に備え、自宅で療養される方に対する食料品や生活必需品等の日用品の支援など、安定的に支援を継続できる体制を整えます。	補正 1,135万円
3	市内保育施設等の感染症対策への支援 ▶ 市内の認可保育所、地域型保育事業、認証保育所、企業主導型保育事業、私立幼稚園において、安全・安心な事業運営が継続できるよう新型コロナウイルス感染症対策にかかる事業費を補助します。	補正 3,850万円

≫ 1 市民のいのちを守るための感染症対策

	事業	備考
4	高齢者等緊急訪問介護事業（レスキューヘルパー事業） ➤ ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方に加え、世帯内に障害等がある65歳未満の方がいる場合も、高齢者本人が急病などで一時的に支援が必要な際や、高齢者本人・家族が新型コロナウイルス感染症に感染し自宅療養となった際にレスキューヘルパー（高齢者等緊急訪問介護）を派遣し、身体介護や生活援助のサービスを提供します。	継続
5	在宅要介護障害者の受入体制整備 ➤ 障害者を在宅で介護している家族が新型コロナウイルス感染症に罹患した際に、障害者が緊急的に短期入所して介護が受けられる体制整備を継続します。	継続
6	高齢者施設及び障害者施設における利用者・職員を対象としたPCR検査等費用助成事業 ➤ 感染拡大と重症化リスクの高い高齢者施設及び障害者施設において、利用者・職員を対象としたPCR検査等を実施する場合にその費用を助成します。	継続

≫ 2 くらしと地域の活力につなげるための支援策

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢等の影響に伴う原油価格・物価高騰により、大きな打撃を受けている市民のくらしとまちの経済を守り、地域の活力につなげるため、市独自の「くらし地域応援券事業」の第3弾を実施します。また、経済的に困窮する世帯に対し、臨時給付金を支給するほか、市独自の就職支援や住居確保支援を行います。

	事業	備考
7	武蔵野市くらし地域応援券事業-第3弾-の実施 ➤ 物価高騰等の影響を受ける本市に暮らす市民の生活支援及び消費喚起による市内事業者支援を目的として、一人あたり5,500円の応援券を発行し、在住市民（令和4年12月1日時点で武蔵野市に住民登録がある方全て）に配付する「武蔵野市くらし地域応援券事業-第3弾-」を実施します。	補正 8億7,956万円
8	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給 ➤ 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、真に生活に困っている方々への支援措置の強化として、当該給付金について、家計急変により受給資格があるにもかかわらず、申請がないことにより受給できていない世帯に対して、令和4年度課税情報を活用したプッシュ型給付による臨時特別給付金（1世帯あたり10万円）を支給します。	継続
9	子育て世帯生活支援特別給付金の支給 ➤ 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯に対し、その実情に踏まえた生活支援を行う観点から、子ども1人につき5万円の給付金を支給します。	継続

≫ 2 くらしと地域の活力につなげるための支援策

	事業	備考
10	生活困窮者住居契約更新料給付金の支給 ➤ 新型コロナウイルス感染症の長期化による影響を踏まえ、経済的に困窮し、住居喪失の恐れのある住居確保給付金受給世帯に対し、賃貸借契約の更新にかかる費用の一部を支給します。	継続
11	生活困窮者特別就職支援金の支給 ➤ 新型コロナウイルス感染症の長期化による影響を踏まえ、経済的に困窮する世帯において、住居確保給付金または新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を受給中に常用就職をした者（雇用期間開始が令和3年10月1日から令和5年3月31日までの間）に対し、生活の安定及び就労定着のための一助として、生活困窮者特別就職支援金（初回支援金、6か月後の継続支援金各5万円）を支給します。	継続

3 市民生活を支える事業者等への支援策

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢等に伴う原油価格・物価高騰の影響は、市民生活を支える事業者等にも大きな打撃を与えています。市民が安心してサービスを利用し、日々の生活を送ることができるよう、事業者等への市独自の補助を行います。

	事業	備考
12	介護サービス事業所への食材費・光熱費等の支援 ➤ 市内の介護サービス事業所に対し、原油価格・物価高騰の影響により増加した食材費や光熱費、燃料費等について、市独自の補助を行います。	補正 9,559万円
13	障害福祉サービス事業所への食材費・光熱費等の支援 ➤ 市内の障害福祉サービス事業所に対し、原油価格・物価高騰の影響により増加した食材費や光熱費、燃料費等について、市独自の補助を行います。	補正 5,043万円
14	市独自の共助の取組みに対する食材費・光熱費等の支援 ➤ 武蔵野市独自の共助の取組みであるレモンキャブやテンミリオンハウス、リフトタクシー「つながり」運行事業者に対し、原油価格・物価高騰の影響により増加した食材費や光熱費、燃料費について、市独自の補助を行います。	補正 217万円

3 市民生活を支える事業者等への支援策

	事業	備考
15	物価高騰に伴う市内保育施設等への支援 ➤ 市内の認可保育所、地域型保育事業、認証保育所、私立幼稚園に対し、物価高騰により増加した食材費（私立幼稚園を除く）、光熱費の値上がり相当分について、市独自の補助を行います。	補正 5,199万円
16	学校給食食材費の高騰に対する臨時補助金の交付 ➤ 物価高騰による学校給食食材費への影響が懸念される中、学校給食の質を守り、保護者負担の軽減に取り組むため、学校給食食材費の一部に対し、市独自の補助を行います。	補正 2,350万円
17	肥料価格上昇対応臨時補助金の交付 ➤ 肥料価格上昇が与える市内事業者への影響を最小限に留め、市内農業の安定的経営に資するため、市独自の臨時補助金を交付します。申請に基づき、令和4年7月以降に購入した肥料価格の3割（上限10万円）を補助します。	補正 200万円
18	商店会活性出店支援金の支給 ➤ 令和2年度から引き続き、空き店舗の長期化を防ぎ、商店会を活性化するため、令和4年度に市内の空き店舗や空き事務所に店舗し、商店会等に加入した事業者に対して支援します。出店時（事業開始時）に30万円、出店後（事業開始後）6か月経過時に30万円を支給します。	継続